

第 87 号



発行 米原市伊吹老ク連
 編集 米原市伊吹老ク連
 広報委員会
 米原市伊吹老ク連事務局
 TEL (0749) 58-1634

老ク連事業「自由な活動参加」で

伊吹老ク連副会長 井吹 勲



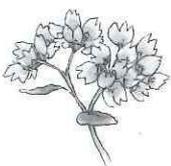
平成二十七年「伊吹老ク連」の事業も、六月の「初夏複合スポーツ大会」から始まり、「夏季ゲートボール大会」を会員参加のもと開催する事が出来ました。また、八月には学校等恒例の奉仕作業（二十二日は雨の為中止）を実施、九月には米原市高齢者スポーツ大会が長浜ドームで開催され、伊吹老ク連からは選拔選手八十二名が出場され、熱戦が繰り広げられました。研修部では一泊二日の県外研修に続き十月十六日には「寿ふれあい広場」等々の事業を終え気が付けば早くも晩秋の季節と成りました。

さて「全国老ク連」で全国的に推進し、取り組まれている「健康・友愛・奉仕」の「全国三大運動」を受け「少子、高齢化・人口減少」が進む中、体力の衰えを予防し、心身共に「健康づくり」を行い、一人住まい高齢者の家庭訪問による「友愛活動」また清掃奉仕等々のボランティア活動を、伊吹老ク連としても会員皆様と連携し、今日まで地域に期待される活動を行って来ました。ところで、平成二十七年で高齢者の占める割合が「六十五歳以上で二十六パーセント」超、十年後には「三十六パーセント」を超える」と推計されていますが、「伊吹老ク連」では会員の高齢化により対外の交流が難しくなり休会のクラブが有る中、一方では若い人が入会し諸活動に参加されています。若手会員が仲間を誘い合い新しい発想で無理なく、自由な活動参加が出来る改革を行い乍ら、地域の高齢者が「三大運動」を通して、元気に楽しく交流の輪を広げる、そんな活動の手伝いを行うの

が老ク連の役割だと思えます。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。今年も後半折り返しを既に過ぎ、残す処あとわずかに成りましたが、引き続き単ク会長様始め会員各位の御協力を宜しくお願い致します。



日本の蕎麦発祥の地 伊吹蕎麦



老ク連 県外一泊旅行を終えて 老後の楽しみは旅



老ク連研修部長 児玉 正昭

九月二十八日心配した天候も当日は晴天に恵まれ、二台のバスは養老SAで合流、今回の一泊二日の県外研修に当っては、単クの会長さん始め、皆様方のご協力によつて六十八名のご参加を頂きました。厚くお礼を申し上げます。

今日は、日頃の生活から脱出、気分新たに高速道路名神から東海北陸道と一路目的地白鳥へと向う。初日の昼食は「味の里しろとり」ですませ訪問先白川郷に到着。世界文化遺産として、平成七年十二月六日に登録された地区百十二棟の合掌造りが保存されている。その中の萩町の合掌造りと毎年テレビで放映されている天下の奇祭どぶろく祭の館等を自由散策した。合掌集落を後にバスは白山スーパール道へと向う。

今回の研修は岐阜県側から石川県と延長三十三、三kmで開通期間は六月から十一月十日までとのこと、工事は山岳の岩盤地帯を通過することから昭和四十二年十月から五十二年十一月まで、そして昭和五十二年八月二十六日に有料

道路として利用、その後カープなどの改良で昭和六十三年には大型バスの利用も可能となった。しかし二輪車特有の横滑りの発生及び安定性から二輪車の通行が禁止となっている。

道中ふくべの大滝(標高九〇〇m)で下車、落差八十六mといわれる蛇谷随一の大滝、まさに大自然のパノラマである。この滝の上方に同様の「幻の滝」が存在する二段の大滝で、滝の上に滝があり瓢箪になるのでふくべと名前がついた。雄大な滝を後に今夜の宿泊、辰口温泉へと向う、金沢から南西に二十五km、南に白山を望む田んぼの中に六つの露天の湯、田んぼの真ん中から湧き出た源水、当旅館自慢の「田んぼの湯」とのこと。秋の夕べには刈田の赤とんぼ、四季折々の山里の風景を楽しめる。また慢性皮膚炎、消化器疾患、神経系統疾患、泌尿器疾患などの効能があるとのことでした。

宴会は十八時三十分より、松井会長の挨拶、続いて前顧問の樋口さんの乾杯でスター

ト、飲んで歌って最後に毎年恒例となっている江州音頭を船川富太郎さんの美声で宴会は幕となった。

九月二十九日天候も良く、旅館の皆さんに見送られ西出酒造へ、地域にある小規模の造り酒屋で百年の歴史があり、人は変れど根付いた信頼を大切に出来たことでした。次に向った石川県立航空プラザに到着、大空への夢に心躍らせる空間、各種の飛行機の魅力にふれられ、その中に二宮忠八の考案した玉虫型飛行機から現代のジェット機まで模型やパネルで解りやすく紹介されていた。

昼食は武生和風レストラン

瀟雅ですませ、武生ナイフピレッジを見学、最後に日本海さかな街にて土産を調達、二日間の日程は全て終り帰路に向う。道中近江トラベル社のご厚意でビンゴゲームで全日程は終った。

無事に帰宅出来たのも乗務員さんの心くばりに心からお礼を申し上げます。さいわい天候にも恵まれた二日間でした、次回は更に多くの方々に参加を期待しています。

最後にご参加頂きました皆様様に何ごともなく無事に研修旅行が終わったご協力に對し心からお礼を申し上げます。



1号車



2号車



白山ふくべ大滝



白川郷合掌造り集落 (世界文化遺産)



西出酒造で試飲



親睦宴会



越前ナイフピレッジ



石川県立航空プラザ

雑感 最近思うこと



春照老ク会長

田中 正紀

日本の社会は今、豊かな社会となり、平等の社会であり、長寿の国になりました。それだけで言えば理想の社会になって来たという事ですが、実際肌で感じるのはーどこかおかしい？ーどこか狂っている？ーという事です。どこがどうおかしいのか、しつかりと認識はできていませんし、何かおかしいぞと思うだけです。それは何なのかかわかっていません。

私達は一生懸命働いて豊かな社会をつくり上げて来ましたが、日本は高度経済成長を遂げ、お陰で賃金は上がり、物は市場にあふれ、人々の暮らしは豊かさと希望に満ちあふれて楽になりました。バブル崩壊で経済は停滞、右肩上がりだった給与も98年以降下がりに続け、正社員は減り、三人に一人は非正規雇用になった為、都市と地方の格差が生じ、景気が回復しても先行きは不透明と学者は警告しています。富める者はますます富を生み、

貧しい者は貧困の状況はより厳しくなり、格差は一段と深まったのではないのでしょうか。

最近、世相が何となくギスギスした殺伐感が漂っているのではないかと感じるのには私だけでしょいか。経済の衰退は脱しつつありますが、相次ぐ自然災害、そして犯罪の凶悪化と低年齢化(一部高齢化も)。新しい世紀に向けて、私達は漠然とした不安を感じます。これからどうすればいいのか、どんな生き方をすればいいのか、多いに迷い何かいいヒントがないのかと思ったりします。そこで私なりに何人かの方々に意見を聞き考察してみました。私達は、こだわるなー自由であれーを原点にあせらず、もつとゆつたりと、そしておおらかに固定観念を捨て、「らしく」という気持ちから解放されて生きていったらいいのではないのかと思うのですが皆様はどの様に考えられますでしょうか。…お伺いする次第です。



初夏複合スポーツ大会

日 時 平成 27 年 6 月 2 日 第一グラウンド
 参加チーム数 グラウンドゴルフ 26 チーム
 ペタンク 男子 12 チーム 女子 10 チーム
 公式ワナゲ 男子 10 チーム 女子 14 チーム
 参加者 約 270 名

種 目	順 位	優 勝	準優勝	三 位	敢闘賞
グラウンドゴルフ 打 数		上野 D 259	高番 B 266	伊吹 D 272	杉澤 A 273
ペタ ンク	男子	大清水 A 3 勝 0 敗 +26 点	村 木 2 勝 1 敗 +17 点	春 照 2 勝 1 敗 +12 点	伊吹 B 2 勝 1 敗 +7 点
	女子	伊吹 B 3 勝 0 敗 +24 点	伊吹 A 3 勝 0 敗 +13 点	大清水 2 勝 1 敗 +13 点	弥 高 2 勝 1 敗 -2 点
公式 ワナゲ 得点	男子	大清水 407	大久保 A 303	伊吹 B 276	高 番 258
	女子	伊 吹 290	杉 澤 178	大久保 A 163	大清水 155

※グラウンドゴルフ (3番)ホールインワン (敬称略)
 堀江美代子、堀川みず江、辻村美恵、林 健一、尾崎喜代一、山川 悟 計 6 名

秋季グラウンドゴルフ大会 平成 27 年 10 月 8 日第 1 G
 県立運動場 参加者 145 名

順位	Aコース 71名			Bコース 74名		
	単ク名	氏 名	スコア	単ク名	氏 名	スコア
1	上野	森 三千代	37	伊吹	伊富貴寿重	39
2	伊吹	堀川みず江	37	高番	山下 秀俊	39
3	杉沢	堤 庄諒	39	弥高	岩山 禮一	41
4	春照	的場 惇	40	伊吹	川崎 善正	41
5	伊吹	岩崎 忠義	40	杉沢	辻村 祐次	42
6	上野	堀川 昭子	41	上野	堀江 紀子	42
7	春照	山田 滋	41	上野	堀江紀志男	43
8	上野	堀江美代子	42	杉沢	佐々木政子	43
9	伊吹	伊富貴寿美子	42	春照	谷川 信治	43
10	大久保	前澤庄次郎	43	伊吹	伊富貴幸雄	43
11	上野	吉川 春子	43	上野	高橋 實	43
12	春照	安田 和子	43	伊吹	滝本 勇	44
13	上野	堀江 富子	44	上野	堀江 裕子	44
14	上野	松井 照子	44	高番	藤田 忠市	45
15	杉沢	岩崎恵美子	44	大清水	宮川 信夫	45

※ホールインワン賞 (3番) (敬称略)
 福永六治、多賀健之輔、的場惇、堀江昭子、山田滋、堀江紀子、山下秀俊、
 佐々木政子、伊富貴寿重、堀川宏、高木権一 以上 11 名

晩秋の候となり朝夕めつき
 り寒くなりました。会員の皆
 様におかれましては、ご健勝
 のことと喜び申し上げます。
 さて保体部事業としまして
 は早や前半期を終了すること
 ができました。成績 (結果)
 は別表のとおりとなりました。
 皆様の多数のご参加をいただ
 きありがとうございます。
 後期におきましても楽しく無
 理のない競技を留意しており
 ます。健康を第一として頂き、
 皆様の多数のご参加をお願い
 申し上げます。



老ク連保体部長

筒井 正信

保体事業 (前期) を終えて



夏季ゲートボール大会

平成 27 年 6 月 25 日
 すば一く伊吹 参加 16 チーム

順 位	チ-ーム名	勝 敗	得失点差
優 勝	高 番	3 勝 0 敗	+16
準優勝	杉澤 A	3 勝 0 敗	+16
三 位	村木 A	3 勝 0 敗	+16
敢闘賞	上 野	2 勝 1 敗	+19
5 位	杉澤 B	2 勝 1 敗	+18
6 位	村木 B	2 勝 1 敗	+12
7 位	藤 川	1 勝 2 敗	+ 5
8 位	大久保 A	1 勝 2 敗	+ 1
9 位	春照 A	1 勝 2 敗	- 3
10 位	弥 高	1 勝 2 敗	- 4
11 位	大清水	1 勝 2 敗	- 8
12 位	伊吹 B	1 勝 2 敗	-13
13 位	伊吹 A	1 勝 2 敗	-14
13 位	本部役員	1 勝 2 敗	-14
15 位	春照 B	1 勝 2 敗	-16
16 位	大久保 B	0 勝 3 敗	-21



秋季 GG 大会高番老ク堀内会長選手宣誓



秋季 GG 大会
 第 1 グラウンド



秋季 GG 大会 県立グラウンド

各単位クラブの活動紹介

単ク活動の充実をめざして



大久保老人会

松井 俊正

大久保老人会は榮寿会と称し、会員相互の親睦を図るとともに、積極的な社会参加を通して、生き甲斐のある人生を送ることを主たる目的としている。また、地域に奉仕し、自らの健康増進活動にも励むことにしている。

これらの目的を達成するために、どこでもやられているのは社寺の環境保全や公共の場の除草と清掃作業、及びゲートボール等の練習がある。単クの特徴ある活動としては、県内の史跡探訪や地域づくりの先進地視察研修がある。昨年は人が住む淡水湖の島として有名な近江八幡の沖島を訪ねた。集落の歴史や課題に就いて学ぶとともに、島内を巡って地域の人たちとの交流をはかった。もう一つは、白寿米寿祝賀

会の開催である。本年は白寿者が1名、米寿者が2名だった。人生の大先輩たる長寿者を囲んでのお祝いの宴では、苦勞づくめの昔話に花が咲いた。九十九才、八十八才という人生経験を経て語られる言葉の一言一言には、ずっしりした重みを感じられ、会員一同生きる勇気をもたらす思いがする。



ペタンク優勝 伊吹Bチーム

単ク活動 半年過ぎて



伊吹親和会会長

山崎 武雄

今年の夏は異常気象で、各地で高温の日が続きましたが、朝夕は、少し肌寒さを感じる季節となりました。私は、伊吹親和会会長の重責を仰せつかり、まもなく半年が過ぎようとしておりますが、伊吹親和会は年間を通して、奉仕作業、一泊二日研修旅行、物故者追悼法要、老ク連の行事を組み入れ、活動しています。

今年で行った活動は、毎月一日に伊夫伎神社境内清掃、「びわ湖を美しくする運動」で、区民グラウンドの除草及び周辺の草刈りを行いました。研修旅行は「夕日ヶ浦温泉と、伊根湾めぐり遊覧の旅」と言う事で、伊根湾と舟屋の風景に、舟に群がるカモメで楽し

み、夜には宴会で相互の親睦を図りました。老ク連行事の初夏複合スポーツ大会では、皆さんの頑張りで好成績を残されました。グラウンドゴルフ、ペタンク、ワナゲの各種目で、十八人の方が高齢者スポーツ大会への出場権を獲得されました。今後残された事業を、会員の皆さんの協力で進めていきたいと思っております。



ワナゲ第3位 伊吹チーム

米原市老ク連高齢者スポーツ大会 種目別結果

平成 27 年 9 月 16 日 県立長浜ドーム

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
ゲートボール	箕 浦	梅ヶ原	志賀谷	高 番	上丹生A
成 績	3-0+33	3-0+32	3-0+22	3-0+17	2-1+14
グラウンドゴルフ	宇賀野	世 継	米原D	米原B	顔 戸
成 績	405	451	456	462①	462②
ペタンク男子	磯	日光寺	本 郷	高 溝	宇賀野
成 績	3-0+27	3-0+13	2-1+17	2-1+9	2-1+1
ペタンク女子	伊吹B	宇賀野	大野木	長 岡	新 庄
成 績	3-0+19	3-0+8	2-1+16	2-1+11	2-1+5
ワナゲ男子	間 田	大久保	梓	世 継	顔 戸
成 績	1,225	949	869(218)	869(210)	867
ワナゲ女子	下多良	舟 崎	伊 吹	梅ヶ原	高 溝
成 績	934	753	730	673	655

選手役員(参加者) 伊吹老ク連 103 名 山東老ク連 83 名 米原老ク連 93 名 近江老ク連 115 名 計 394 名



県指定無形文化財

五年ぶり 上野伊吹山奉納太鼓踊りを終えて



上野東老人ク会長 吉田 稔

十月四日上野三之宮神社において伊吹山奉納太鼓踊りが奉納されました。

江戸時代夏日大旱には、干

ばつに苦しむ伊吹山麓の農民が三之宮神社の境内に参集し

早朝より夕暮れまで雨乞祈願をし、又氏子全員が伊吹山頂

弥勒菩薩前に集まり、柴一束宛刈りとして集め雷踊りと共に大松火を捧げた。これが千

ば焚きであり、又各自持ってきた大松に火を受けて下山

それぞれ田で雨をお願いし豊作をお祈りしたのであります。(上野区保存会誌より)

明治三十三年に返礼踊が奉納され、大正十三年に奉納されて以来戦時中絶え、戦後

昭和二十二年に奉納された後昭和四十二年に四十二年ぶり

に奉納されるにあたり、私たちの親(明治・大正生まれ)

の方々が尽力された事を覚えております。昭和五十四年に滋賀県選択無形文化財を受けて今日に至りました。

上野会館前十二時出発。幟会長・区長・露弘・指揮(千束焚)・笛・役太鼓・鉦・太鼓・音頭・側音頭・側踊り・ふくべ親方・ふくべ・総勢一七〇余名が一時間かけ練り歩いた。境内では六月中旬から練習に練習を重ね、この日に備えた

成果を思う存分に発揮し、又、お客様の度重なる声援と拍手にも励まされ、精一杯踊り、今年も晴天にも恵まれ十五年ぶりに笠破(笠の破れるほど踊る)も奉納する事も出来ました。終った時には皆さんのやりきった笑顔が輝いていました。

最後に区民一同事故もなく終える事ができましたのも、皆様のご協力の賜と、お礼申し上げます。

少子高齢化の折、今後も途絶える事無く末永く引き継がれて行く事を願っております。

ふくべ親方

道行き



ふくべ親方



道行き

第十一回交通安全高齢者自転車大会に参加して



伊吹親和会 中村 隆法

高齢者自転車大会。この言葉から、簡単と考えて参加を決めました。ところが練習一日目、8の字走行とジグザグ

走行、頭の中では簡単。でもやってみると自分のバランス感覚の悪さに驚愕。フラフラ

走行に終始。足は着く、ライオンはみ出す、ジグザグ走行では、ピンは倒す。こんなはずではなかった。参加したこ

とにちよつと後悔。練習二日目、少し慣れもあり、フラフラしながらも何とかゴール。(二度皆さんもやってみてはどうですか?自分の老化具合

いがわかりますよ。ペットボトルを1、5m間隔に置いてジグザグに走行。)そのあと、安全確認の項目、右ヨシ!左

ヨシ!後方ヨシ!がなかなかできない。そもそも普段こんな

なことはやったことがない。これも悪戦苦闘。でも練習のお陰で、大会当日は何とか乗り切り、米原警察山田係長をはじめ、チームの皆さんの応援もあり、特別賞をいただきました。感謝。

交通安全高齢者自転車大会

交通安全高齢者自転車大会

交通安全高齢者自転車大会

交通安全高齢者自転車大会

交通安全高齢者自転車大会



交通安全高齢者自転車大会

美しく老いる ⑦2

思い出の 一葉より



春照老人クラブ 山田 滋

炎暑の夏も終わり、ようやく秋、気候変動のせいかわい季節が短く感じる今日この頃ですが、老く連合会皆様には愈々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて戦後七十年、高校野球百年の節目と云われる今年度、ことのほか熱戦続きであった夏の甲子園も終わりました。「かつて野球にかけた情熱がなつかしい」：自らの歩んだ道をふりかえるのも：と古いアルバムを開いていた所、昭和二十八夏の大大会前の新聞社取材のなつかしい写真が出て来ました。何もかも失った終戦

の混乱期、現在の様な環境に恵まれない時代、夢実現のために白球を追った昔に思いをはせ、六十年の年月を積み重ねた今も鮮明によみがえる甲子園への険しい道のりをあらためて実感しています。

高校入学一年の春、全校クラス対抗野球大会で中学校時代の実績から投手をまかされ優勝したのがキッカケで硬式野球部へ入部、自分の知らな

かった自分が、バカッと飛び出してしまった様な状態になつてしまった。……「やりタイこととの出会い」「広い道がいつか一本道に」自分がやりたいこととの出会いは、いつ用意されているのかわからない」……が、それが人生の妙味であろうか。非力な私

が勇気を出して飛び込んだ人生のひとつの分岐点でもあったと思つています。勉強とスポーツの両立、甲子園という大きな目標をめざし、バケツ一杯の水を分けあい練習に励んだことを思い出しています。

結局、春はベスト4、夏はベスト8で京滋大会への夢は消えたが「その時のポーツした虚脱感は今、尚、鮮明に残っています。

問題は、その後の我が道の選択、十八才の頃に自分のやりたい事を決めている者は、ごくわずか：自己主張を通すことの出来ない家庭環境、諸事情によって、なかなか思い通りに生きら

れない。結局はある程度自分を追いつめ、自分を納得させた上での人生の選択は就職であった。

戦後の何もない時代、バットは丸太を削り、ボールはスポンジを固く丸め、グローブは素手、キャッチャーミットだけは古新聞を集めて資金で作った。こんな時代がある意味で本当に楽しかったのかも

しれない。ふりかえつて見ると、歩むべくして歩んで来た道とも云える。社会人となり、自身身の夢を心の糧に沢山の仲間と出会い乍ら、あらゆる事に挑戦、はりつめた青春時代を送れたことに感謝しています。



当時の新聞に掲載された
山田投手の投球ホーム

囲碁大会の結果

八月五日

八月五日(水)第四十三回夏季囲碁大会が、ジョイいぶきで開催されました。

参加者は十一名でA・B組分けはせずに、それぞれ四局の対局をされ、一位から六位までの表彰を行いました。

結果については、次のおりです。

- 一位 福本 伝一 (春照)
- 二位 石田 守正 (杉澤)
- 三位 筒井 善之 (高番)
- 四位 筒井 正信 (高番)
- 五位 堀江 勝司 (上野)
- 六位 堀川 守雄 (伊吹)

(敬称略)



囲碁大会参加者

老ク連事務局長が替わりました



老ク連会長 松井 重廣

会員の皆様には、すでにご承知のとおり私達と一緒に仕事をやってきた仲間が八月三十一日付けをもって辞められました。

私達にしてみればまだまだ年齢的にも若いし残留するように止めましたが、本人の意志も強く、仕方ありません。十年間の長い年月本当にご苦労さんでした。今後は、健康を第一に考



久保副会長より感謝を込めて花束贈呈



え好きなことをやり、夫婦、楽しい生活を送って下さい。

尚、後任には上野の高橋兵太さんが事務局を引き受けて下さいまして、九月一日より、仕事につかれました。精神的に早く仕事を覚えようと頑張っておられます。各単クの皆さんも一日も早く顔を覚えていただき老ク連へ足を運んでもらえたいと思っております。

退任挨拶

伊富貴 鉄雄



私が伊吹老ク連の事務局にお世話になり十年が経ちました。その間、会員の皆様や歴代の単ク・老ク連の役員の皆様方には、多大のご支援やご援助を賜りまして無事に務めさせて頂くことが出来ました。

当初は前後左右何も分からず、皆様に迷惑のかけっぱなしで大変申し訳ありませんでした。その後も各年度の事業をこなすのに精一杯で何ら出来なかつたと思っております。

現在、老ク連を取り巻く情勢は、会員の減少、その一つの原因でもある若年層の未加入等、克服しなければならぬ種々の問題が山積している中、退任させて頂きますが身体不調の関係もあり、この期に後任頂く事に

なった気鋭の高橋さんに託し、新たな伊吹老ク連の発展を願うものです。本当に長い間お世話になりました。とうございました。

就任挨拶

高橋 兵太



この度、伊富貴さんの後任として九月一日付で、老ク連の事務局事務員として就任させて頂く事になりました。

私は公職を定年退職してから三年が経過し、満六十四歳になり、お話しをしていただいた時に色々迷いましたが、お受けすることになりました。老人クラブ会員の皆様は「健康・友愛・奉仕」の三大運動を基本理念として、健康づくりや、明るい長寿社会づくりのために、多大のご貢献をされていますが、こうした活動のお役に立てられるよう鋭

意努力して行きたく思っています。何卒皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。任の挨拶とさせて頂きます。

編集後記

今年の夏は七、八月と例年になく猛暑が続きましたが、九月になると台風十八号が発生し、愛知県知多半島に上陸した後日本海に抜け、その後は温帯低気圧となり、関東地方の茨木、栃木県では大きな被害が出たことは、記憶に新しいと思います。今年二回目の年輪87号の発刊となり、スポーツ大会、県外一泊研修等諸行事に参加をし、感想等を書いていただき充実した誌面となり、有難うございました。

松井重廣

